

洗掘防止マット厚さ軽減と大型化によりコスト縮減

工事名：山元海岸S2号突堤工事

概要：ヘッドランドの安定性を確保するためには基礎の洗掘防止対策が重要であり、海底の被覆工法としてアスファルトマットを用いた工法が広く採用されています。今回、民間の水理模型実験結果からマットの波に対する所要安定重量（厚さ）の軽減を図ることが可能となりました。また、併せてマット重ね継ぎ手ロスを減らすため大型化によるコスト縮減を図ります。

効果：マット厚の軽減と大型化により、設置枚数が減るため工期短縮が図られる。アスファルトマットに要する工事費を101百万円から72百万円に縮減。（縮減額29百万円、縮減率約28.7%）

